

研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-110	A-142	24-076	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)			
Alcohol consumption and mortality among Canadian drinkers: A national population-based survival analysis (2000-2017) カナダの飲酒者におけるアルコール摂取と死亡率：2000年～2017年の全国人口ベースの生存分析			
執筆者			
Clay JM, Callaghan RC, Sherk A, Naimi TS, Stockwell T, Asbridge M.			
掲載誌			
Drug Alcohol Rev. 2025 Feb;44(2):434-447. doi: 10.1111/dar.13993.			
キーワード			PMID
飲酒ポリシー、飲酒ガイドライン、縦断研究、適度な飲酒、死亡率			39667732
要 旨			
<p>目的： 飲酒は世界的な疾病負担の主要因である。カナダでは飲酒に関する健康被害を減らすために低リスク飲酒ガイドラインが策定されており、2023年に改訂された「カナダのアルコールと健康に関するガイダンス (CGAH)」は、週あたりの飲酒量に基づくリスクゾーンを提示している。本研究は、CGAHのリスク分類に基づき、カナダの飲酒者における飲酒と死亡率の関係を検証することを目的とした。</p> <p>方法： 2000年から2006年のカナダ国民健康調査 (CCHS) の3サイクルのデータを用いて、2017年までの死亡記録と紐づけた後ろ向きコホート研究を実施した。過去1週間に飲酒した15歳以上の145,760人を対象とした。飲酒量は7日間の回顧法で測定され、CGAHのリスクゾーン (低：1-2杯、中：3-6杯、高：7-15杯、過剰：15杯超) に分類された。アウトカムは全死亡、飲酒関連死亡、およびアルコール寄与率 (alcohol-attributable fraction: AAF) 15%以上の疾患による死亡とした。</p> <p>結果： 飲酒量が1杯増えるごとに、全死亡リスクは1% (ハザード比(HR) = 1.01、$p < 0.001$)、飲酒関連死亡リスクは1% (HR=1.01、$p=0.002$)、AAF 15%以上の疾患による死亡リスクは2% (HR = 1.02、$p < 0.001$)上昇した。女性は男性よりも同量の飲酒で死亡リスクが高くなる傾向がみられた。</p> <p>結論： 本研究は、CGAHの推奨を支持しており、健康被害を軽減するためには飲酒量の上限を低く設定することの重要性を強調している。公衆衛生施策としては、特に高い飲酒量で死亡リスクが大きくなる女性に対して、ガイドラインの認知と遵守を促進することに重点を置くべきである。</p>			